まちづくりを踏まえた都市計画道路の整備促進に関する決議

令和5年6月に策定された「県立病院跡地利活用基本計画」では、本市のまちづくりにおいて重要な土地である県立病院跡地の利活用の内容が示された。

この計画においては、県立病院跡地に接道する都市計画道路「藤室鍛冶屋敷線」及び「千石町小田橋線」の2路線に対して、間口を設ける敷地利用が計画されている。

一方、主要な道路の整備として実施する都市計画道路の整備については、令和5年11月に公表された令和5年度行政評価結果における「課題認識と今後の方針・改善点」として、「県立病院跡地利活用事業に関連した藤室鍛冶屋敷線（城前工区）の整備を進め、安全確保と渋滞解消を図る」ことが初めて示された。

現在、都市計画道路の整備は、藤室鍛冶屋敷線における本町工区について、令和8年度の整備完了を目指し事業を実施しているところである。令和6年度当初予算の審査をとおして、県立病院跡地の利活用を考慮した都市計画道路の新たな工区についての早急な整備の必要性は認識しているものの、事業に取り組むに当たっては、準備が整っているとは思われない点が散見された。

このことから、安全で快適な幹線道路ネットワークの形成を目指し、今後の本市におけるまちづくりを踏まえた都市計画道路の整備を促進するため、下記の4点を求めることを決議する。

- 1 都市計画道路整備事業の実施に当たっては、市全体の都市計画道路整備への影響を考慮すること。
- 2 城前工区の事業実施に当たっては、整備区間周辺住民への十分な説明を行うこと。
- 3 城前工区の区間認可設定に当たっては、県、公安委員会など関係機関と十分な協議を行うこと。
- 4 城前工区の事業認可設計業務の実施に当たっては、県道会津若松裏磐梯線までを含めた調査区間とすること。

令和6年3月18日

会 津 若 松 市 議 会